



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月4日

上場会社名 スーパーバッグ株式会社  
 コード番号 3945 URL <https://www.superbag.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 樋口 肇  
 (氏名) 鈴木 崇之  
 TEL 04-2938-1244

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	11,843	1.8	64		60		83	
2022年3月期第2四半期	12,054	8.1	352		342		19	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1百万円 ( %) 2022年3月期第2四半期 101百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	54.68	
2022年3月期第2四半期	12.97	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	14,158	2,452	17.2
2022年3月期	13,779	2,453	17.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 2,438百万円 2022年3月期 2,441百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期				0.00	0.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

現時点での2023年3月期の期末配当予想につきましては、未定としております。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,700	1.7	60		30		10		6.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	1,686,154 株	2022年3月期	1,686,154 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	157,875 株	2022年3月期	157,875 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	1,528,279 株	2022年3月期2Q	1,528,409 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年9月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に係る各種規制が緩和されたことに伴い、消費や投資に持ち直しの動きが見られ、経済活動は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、ウクライナ情勢に起因する資源価格の上昇や、日米金利差拡大を背景とした歴史的な円安の進行といった景気の下振れリスクにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、原材料・物流コストの高騰、急速な円安進行といった外部要因の影響は続いている一方、環境意識の高まりから包装資材の紙化の流れが継続し、紙製品事業は好調に推移いたしました。また、行動制限等の緩和で人流回復が進んだことによる来店型事業における紙製包装資材需要、コロナ禍におけるオンライン消費活動が定着したことによる宅配資材需要は、今後さらに増加していくものと期待されます。

このような環境のもと、2021年6月30日に公表した中期経営計画『次世代パッケージ企業への転換』に掲げる『環境対応と成長基盤確立のための3ヵ年～本気の変革～』を基本方針として、「コスト削減」、「不採算事業の改善」、「新規事業の発掘」、「業務フローの効率化」、「組織・人員の見直し」などに取り組み、引き続き環境戦略の強化、構造改革の徹底に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は11,843百万円（前年同四半期比1.8%減）、営業損失64百万円（前年同四半期は営業損失352百万円）、経常損失60百万円（前年同四半期は経常損失342百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失83百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失19百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、各セグメントのセグメント損益（営業損益）は、10ページ「セグメント情報」に記載のとおり、各セグメントに配分していない全社費用304百万円を配分する前の金額であります。

#### 「紙製品事業」

紙製品事業につきましては、環境意識の高まりから、主力の角底袋、宅配袋、手提袋、紙器の販売数量・金額増加などにより、売上高は前年同期に比べ1,000百万円増加して5,854百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は原材料費が増加したものの、売上高増加の効果により、前年同期に比べ210百万円増加して281百万円となりました。

#### 「化成品事業」

化成品事業につきましては、包装資材の紙化の流れが継続し、ポリ宅配袋の販売数量・金額減少などにより、売上高は前年同期に比べ1,016百万円減少して2,934百万円となりました。セグメント損益（営業損益）は売上高減少に加えて調達コストの上昇や円安の影響があったものの、固定費の削減を進めたことにより、前年同期に比べ54百万円増加しましたが、93百万円の損失となりました。

#### 「その他事業」

その他事業につきましては、S・V・S（スーパーバッグ・ベンダー・システム）を主たる事業として展開しておりますが、前期需要が旺盛であった新型コロナウイルス感染拡大を背景とした清掃用品の売上高が減少したことにより、売上高は前年同期に比べ195百万円減少して3,054百万円となりました。品目ごとの販売構成では、清掃用品、販売用品が減少し、包装用品、事務用品が増加しております。セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ13百万円増加して51百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ379百万円増加して14,158百万円となりました。流動資産は、電子記録債権が169百万円減少した一方、現金及び預金が198百万円増加、棚卸資産が321百万円増加、前払費用が80百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ406百万円増加の9,774百万円となりました。固定資産は、設備投資等により78百万円増加した一方、減価償却で121百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ26百万円減少の4,384百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ380百万円増加して11,705百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が43百万円減少、電子記録債務及び設備関係電子記録債務が81百万円減少、リース債務が44百万円減少した一方、短期借入金及び長期借入金が550百万円増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1百万円減少して2,452百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が20百万円増加、為替換算調整勘定が53百万円増加した一方、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純損失計上により83百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の17.7%から17.2%になりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は2,507百万円となり、前連結会計年度末に比べ205百万円増加しております。その内訳は次のとおりであります。

#### 「営業活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、266百万円（前年同四半期は202百万円の増加）となりました。

これは、減価償却費121百万円、売上債権の減少207百万円等資金が増加したものの、税金等調整前四半期純損失60百万円、棚卸資産の増加321百万円、仕入債務の減少135百万円、利息の支払額44百万円、未払消費税等の減少14百万円等資金が減少したことなどによるものであります。

#### 「投資活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、64百万円（前年同四半期は679百万円の増加）となりました。

これは、固定資産の売却による収入15百万円等資金が増加したものの、投資有価証券及び固定資産の取得による支出86百万円等資金が減少したことなどによるものであります。

#### 「財務活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、497百万円（前年同四半期は435百万円の増加）となりました。

これは、リース債務の返済による支出53百万円等資金が減少したものの、借入金が純額で550百万円増加したことなどによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日公表の数値に変更はありません。

また、2023年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,351	2,549
受取手形	258	185
売掛金	3,297	3,332
電子記録債権	840	671
商品及び製品	1,770	2,026
仕掛品	281	338
原材料及び貯蔵品	420	429
その他	146	239
流動資産合計	9,367	9,774
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,541	4,584
減価償却累計額	△3,830	△3,880
建物及び構築物(純額)	711	704
機械装置及び運搬具	8,249	7,379
減価償却累計額	△7,641	△6,827
機械装置及び運搬具(純額)	607	551
土地	644	644
リース資産	556	550
減価償却累計額	△341	△353
リース資産(純額)	215	196
建設仮勘定	11	45
その他	673	438
減価償却累計額	△651	△420
その他(純額)	22	17
有形固定資産合計	2,212	2,160
無形固定資産		
電話加入権	15	15
リース資産	3	1
その他	28	22
無形固定資産合計	47	39
投資その他の資産		
投資有価証券	1,349	1,393
破産更生債権等	0	4
事業保険金	84	84
差入保証金	125	139
退職給付に係る資産	487	486
繰延税金資産	56	40
その他	48	40
貸倒引当金	△0	△5
投資その他の資産合計	2,151	2,184
固定資産合計	4,411	4,384
資産合計	13,779	14,158

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,934	2,890
電子記録債務	2,624	2,532
短期借入金	1,260	1,401
リース債務	99	98
未払金	433	454
未払法人税等	41	34
未払消費税等	28	13
契約負債	24	30
賞与引当金	171	191
設備関係電子記録債務	17	27
設備関係未払金	23	7
その他	117	111
流動負債合計	7,777	7,796
固定負債		
長期借入金	2,480	2,890
リース債務	365	322
役員退職慰労引当金	51	30
退職給付に係る負債	649	666
固定負債合計	3,547	3,909
負債合計	11,325	11,705
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,374	1,374
資本剰余金	1,409	1,241
利益剰余金	△367	△282
自己株式	△263	△263
株主資本合計	2,153	2,070
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105	125
為替換算調整勘定	123	177
退職給付に係る調整累計額	58	65
その他の包括利益累計額合計	287	368
非支配株主持分	12	13
純資産合計	2,453	2,452
負債純資産合計	13,779	14,158

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	12,054	11,843
売上原価	10,019	9,744
売上総利益	2,035	2,098
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	1,167	1,100
給料及び手当	727	583
賞与引当金繰入額	81	91
退職給付費用	36	28
賃借料	86	79
旅費及び交通費	28	28
その他の経費	259	252
販売費及び一般管理費合計	2,387	2,163
営業損失(△)	△352	△64
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	23	20
貸倒引当金戻入額	3	—
持分法による投資利益	18	36
受取賃貸料	7	2
作業くず売却益	0	1
その他	16	2
営業外収益合計	70	63
営業外費用		
支払利息	50	42
為替差損	2	12
賃貸費用	3	1
その他	4	1
営業外費用合計	60	58
経常損失(△)	△342	△60
特別利益		
固定資産売却益	410	7
リース債務解約益	—	0
役員退職慰労引当金戻入額	10	—
助成金収入	51	1
特別利益合計	472	9
特別損失		
固定資産除却損	4	6
固定資産売却損	10	3
リース資産除却損	1	—
特別損失合計	16	10
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	113	△60
法人税、住民税及び事業税	82	16
法人税等調整額	15	6
法人税等合計	97	23
四半期純利益又は四半期純損失(△)	15	△83
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	35	△0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△19	△83

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	15	△83
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	20
為替換算調整勘定	69	39
退職給付に係る調整額	11	7
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	14
その他の包括利益合計	85	82
四半期包括利益	101	△1
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55	△2
非支配株主に係る四半期包括利益	45	0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	113	△60
減価償却費	171	121
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	4
賞与引当金の増減額(△は減少)	3	20
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△106	7
受取利息及び受取配当金	△23	△20
支払利息	50	42
為替差損益(△は益)	△1	△0
持分法による投資損益(△は益)	△18	△36
受取保険金	△2	△0
固定資産売却損益(△は益)	△399	△3
固定資産除却損	4	6
リース資産除却損	1	—
助成金収入	△51	△1
売上債権の増減額(△は増加)	722	207
棚卸資産の増減額(△は増加)	31	△321
仕入債務の増減額(△は減少)	△409	△135
未収入金の増減額(△は増加)	△53	△16
未払債務の増減額(△は減少)	17	14
未払消費税等の増減額(△は減少)	30	△14
差入保証金の増減額(△は増加)	0	△14
その他	△36	△85
小計	40	△288
利息及び配当金の受取額	57	62
利息の支払額	△50	△44
助成金の受取額	36	1
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	115	2
保険金の受取額	2	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	202	△266
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△8	△7
固定資産の取得による支出	△110	△78
固定資産の売却による収入	801	15
固定資産の除却による支出	△3	△1
貸付金の回収による収入	1	—
差入保証金の回収による収入	0	0
その他	△2	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	679	△64
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△10	60
長期借入れによる収入	1,250	1,100
長期借入金の返済による支出	△754	△609
自己株式の取得による支出	△0	—
リース債務の返済による支出	△47	△53
非支配株主への配当金の支払額	△1	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	435	497
現金及び現金同等物に係る換算差額	59	39
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,376	205
現金及び現金同等物の期首残高	1,546	2,301
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,922	2,507

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年6月29日開催の定時株主総会において、繰越利益剰余金の欠損を填補し早期に財務体質の健全化を図ることを目的として、利益準備金の額の減少及び剰余金の処分を決議いたしました。2022年8月5日付で効力が発生し、第2四半期連結会計期間において、資本剰余金が168百万円、利益準備金が285百万円、別途積立金が251百万円減少し、繰越利益剰余金が705百万円増加しております。

なお、株主資本の合計金額への影響はありません。

## (セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
紙袋	3,937	—	—	3,937	—	3,937
紙器	509	—	—	509	—	509
その他紙製品	406	—	—	406	—	406
ポリ袋	—	2,624	—	2,624	—	2,624
その他化成品	—	1,327	—	1,327	—	1,327
その他商品	—	—	3,249	3,249	—	3,249
顧客との契約から生じる 収益	4,853	3,951	3,249	12,054	—	12,054
外部顧客への売上高	4,853	3,951	3,249	12,054	—	12,054
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,853	3,951	3,249	12,054	—	12,054
セグメント利益又は損失(△)	70	△147	38	△39	△313	△352

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△313百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
紙袋	4,866	—	—	4,866	—	4,866
紙器	554	—	—	554	—	554
その他紙製品	433	—	—	433	—	433
ポリ袋	—	2,289	—	2,289	—	2,289
その他化成品	—	645	—	645	—	645
その他商品	—	—	3,054	3,054	—	3,054
顧客との契約から生じる 収益	5,854	2,934	3,054	11,843	—	11,843
外部顧客への売上高	5,854	2,934	3,054	11,843	—	11,843
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,854	2,934	3,054	11,843	—	11,843
セグメント利益又は損失(△)	281	△93	51	239	△304	△64

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△304百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。